

2 / 8時の指導計画

(1) 指導目標

- ・ 文章を読んで、相手や目的、条件に応じて表現の仕方が異なることに気付かせる。
- ・ 学習の計画を立てさせ、学習の見通しをもたせる。

(2) 展開

過程	学習内容及び学習活動	教材・資料	教師の指導・支援	評価規準と評価方法 Cの状況の生徒への手立て
導入	1 本時の目標を知る。	学習計画表	学習計画表を基に、学習の目標と流れを確認させる。 投稿記事モデルC、Dを例に取り上げて、同じような趣旨でも全く同じ文章にはならないことに気付かせ、どんな理由から異なっているかを考えるよう補足説明する。	
	目標1 同じ趣旨の文章でも書き方が異なるのはなぜか考えよう 目標2 学習計画を立てよう			
展開	2 投稿記事C、D(教材3)と「モアイは語る」(教材4)を比べ読みし、相手や目的、条件に応じて書き方が異なることに気付く。	教材3 教材4	「モアイは語る」を、投稿記事C、Dを念頭に置いて比べながら読むように促す。 個人 グループ 学級というように、時間を区切って学習形態を変えることを確認させる。	E-1 相手や目的、条件に応じて文章の形態や文章表現に違いがあることに気付いている。 【話し合いの観察】
	3 教材3と教材4の表現の違いに注目して要約や引用のポイントを確かめる。 4 学習課題を設定し、学習計画を立てる。	補助資料 補助資料 学習計画表	補助資料 を用いて引用と要約のポイントを確認させ、補足説明する。 学習計画を立てることに慣れていない生徒の場合は、一斉指導の形態で助言をしながら計画を立てさせる。 立てた計画は、生徒同士で確認をさせる。	投稿記事C、Dと「モアイは語る」の結論部分に線を引かせ、文章の目的を比較させる。また、前時に確認した比べ読みの観点を見付けさせる。
まとめ	5 本時の学習で学んだことを振り返り、次時の見通しをもつ。	学習計画表	学んだことを確認させ、学習計画表に記入させる。 次時は図書館での学習になることを予告する。	E-1 相手や目的、条件の違いによって書き方が異なることを理解し、学習の見通しをもっている。 【学習計画表の記述分析】